

川で学ぼう

● 手取川の河川整備の目標

- － 洪水による災害の防止・軽減
- － 河川の適正な利用と流水の正常な機能
- － **河川環境の整備と保全**

- ・石の河原の復元
- ・多様な生物の生息・生育環境の保全
- ・適正かつ多様な河川利用の推進
- ・河川景観の保全
- ・適性な河川の利用
- ・**多様な河川の利用**

- ・発電等関係水利使用者との調整
- ・魅力ある河川空間の創出
- ・河川愛護の啓発
- ・地域住民と連携した河川管理



手取川の自然や風土を学び、豊かな人格を形成するための学校教育の場としてさらに活用されるよう、総合的な学習の支援を行う。

手取川では、流域の子供達に川で学んでもらうため、教育機関等と連携をとりながら活動をしています。

主な取り組みは、

- ・手取川開発期成同盟会と協同で実施している「手取川アウトドア教室」
- ・各学校の「総合的な学習の時間」を支援するために実施している総合学習

◇アウトドア教室

アウトドア教室は、手取川流域の上流から下流に住む子供達がお互いの生活の場を見て、交流を深めながら、手取川を学んでもらうことを目的に、昭和62年から毎年夏休みに手取川開発期成同盟会との共催で実施しています。

■過去からの変化

2007年度までの活動内容

2007年度までは、河川敷等の公園に限定して、河原での石捜し等のゲームやイワナのつかみ取り等のレクリエーション中心の活動を行っていた。他の流域の友達と交流する機会が多く、遊びの要素は多いが、全体的に学習の要素が少なかった。

実施状況



レクリエーション教室



サッカー教室



イワナのつかみどり



ウォーターガンコンテスト



蛇谷土石流跡見学

2008年度の活動内容

■実施した内容の特徴

2008年度からは、より多くの自然や治水事業の施設に触れてもらうため、上流域から下流域までの河川や施設見学を中心に、学習的要素の多いプログラムとした。

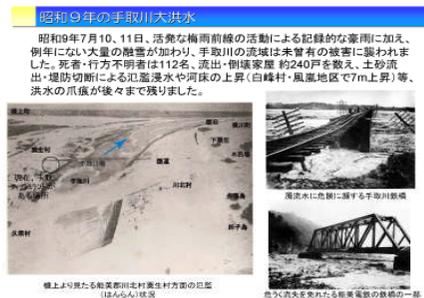
■留意した点

- ①流域の自治体がバランスよく参加するように留意する。
- ②河川、ダム、砂防等の治水事業の施設を幅広く見学できるようなメニューとした。
 河川：美川美し河原公園、水辺プラザ、手取川水道事務所
 ダム：手取川ダム
 砂防：白山砂防科学館、百万貫の岩、白山砂防事業（別当出合）
- ③治水、利水、環境がバランスよく学習できるような資料を用意し、さらに終わってからも勉強できるように参加者全員に配布した。
- ④見学は、1グループを最大20人程度とし、グループ毎に職員がついて、全員に説明が行き届くよう留意した。

今回は、参加者約90名ということで、5班編制で見学した。

説明資料サンプル

〈治水〉



〈利水〉



〈環境〉



2008年度 実施状況



①美し河原公園



②水辺プラザ



③手取川水道事務所（浄水場）



④手取川ダム



⑤白山砂防科学館



⑥百万貫の岩

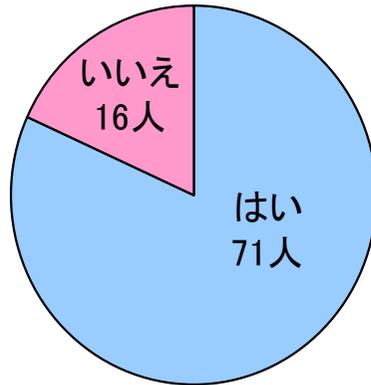


⑦白山砂防事業（別当出合）

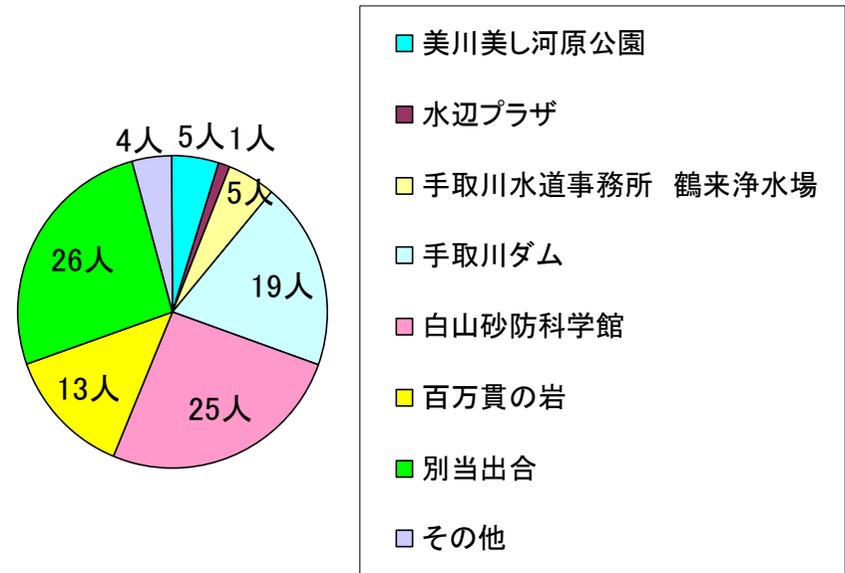


■アンケート結果

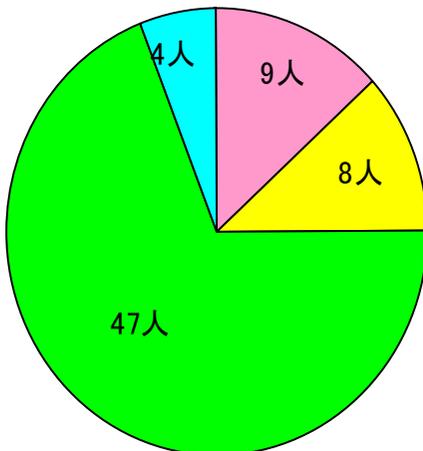
Q1. 今日の手取川アウトドア教室は
おもしろかったですか？



Q2. Q1で「はい」と答えた方は、
どこが一番おもしろかったですか？



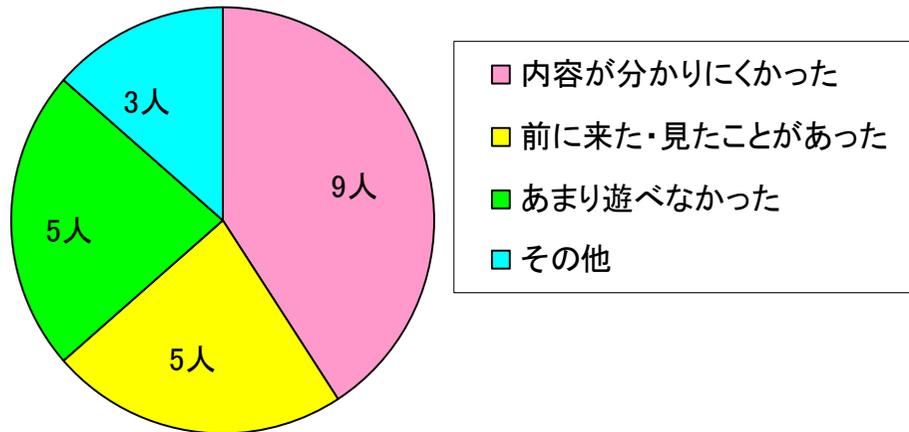
Q3. Q2でおもしろかった場所は、
何故おもしろかったですか？



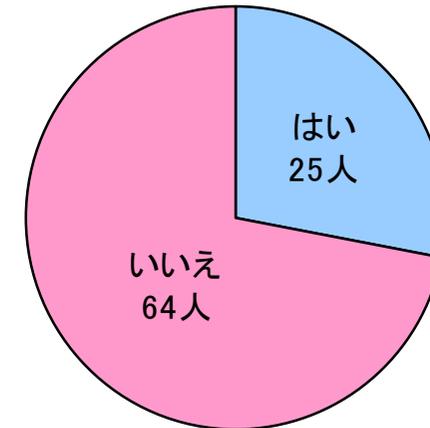
- 内容が分かりやすかった
- もともと興味があった
- 初めて来た・見たから
- その他

■ アンケート結果

Q4. Q1で「いいえ」と答えた方は、
何故おもしろくなかったですか？



Q5. ほかの友達と仲良くなれましたか？



その他の意見として、「もっと遊びの時間を入れてほしかった」「もっとゆっくり見学したかった」「説明が分かりにくかった」などの意見があった。

■ 今後の課題

- ①流域市町の交流という点に関して、今回は学習的な要素が強く、遊びの要素が少なかったため、もう少し遊びの要素を取り入れて、交流を図れるようなメニューを準備する必要がある。
- ②説明の仕方を工夫する必要がある。

総合学習では、学校と連携をとり、子供達の授業の一環として支援しています。授業の進め方は、一律同じにするのではなく、学校側と打合せを重ねながらできるだけ学校側のニーズに応える形となるように努めています。授業の内容は、治水・利水・環境をバランスよく学んでもらえるよう配慮して行っています。また、校内だけの授業だけでなく、実際に外に出て、体験してもらう事で、より川の理解を深めてもらうように努めています。



平成19年9月27日、川北町橘小学校で5年生の総合学習を行いました。

今回は、学校側から、川に関する説明や、模型を使用する実験等の要望を受け、その要望に応えるべく学校との打合せをした後、授業を行いました。



校内では、資料を用いて手取川の治水・利水・環境について説明しました。

実験では、地元の業者である中島建設の協力を得て、土砂でミニチュアの川(堤防)を作り、そこに水を流し、川の流れについて学習しました。



平成18年7月7日、白山市立明光小学校で総合学習を行いました。校内で、手取川に関する授業を行いました。

白山市立明光小学校 H18.7.7



平成18年10月11日、手取川河口付近の見学に行き、川に関する理解を深めてもらいました。

白山市立明光小学校 H18.10.11